

### ひとりひとりの子どもが

### 輝くために

教育委員長 荒木 小由美



町の示す教育目標である「創造力に富む人づくり」「薫り高い文化の町づくり」を念頭におき、「社会の中でたくましく生き生きと生活し、まわりを喜ばせることに喜びを感じ、自分自身も輝く」そんな人を育てていけるような教育環境を作りあげていきたいと願っています。下諏訪町の子どもたちが生き生きと生活するためには、家庭・保育園・学校・地域・自然と様々な環境が関わっています。

家庭においては、生まれた時は「元気で健やかに成長してほしい」と願いは一つだったものが、保育園に入園するころから願いは多くなり、子どもへの負担が増え、子どもは自分より親の願いを考えてしまいがちです。親は、子どもの成長の芽を見逃さず、良い所を冷静に見、成長の芽をもっと大きく育てるよう滋養を与え、我が家は「こうしたい」という目標を持つことも必要でしょう。

学習面では、理解や習熟度別学習により、「一人ひとりが意欲的に目標をもって学習に取り組むようになった」という成果も聞きます。確かな学力の定着は、学習意欲の向上にも繋がります。

現在、下中、社中、北小高学年が行っている放課後学習寺子屋は、毎週一回と時間は短いですが、自主的に集まる子どもたちを学習支援ボランティアが指導しています。(南小は放課後子ども教室にて実施)

■諏訪湖博物館の1月の休館日は、1・2・3・4・5・13・19・26日です。

### こんな一年にしたい



吹奏楽部に入部して一生懸命取り組んで、勉強も励んで欲しい。

南高木 長崎 昌文

今年の我が家は三年に一度のお祭り騒ぎの年です。子どもが三人いますが偶然にも三才違いのため、三月四月は卒業入学で大騒ぎとなります。

ここで、家族の「こんな一年にしたい」と題して願いを書きます。

まずはトップバッター長男中学三年生。今年三月には高校受験です。まだまだ受験に向けての勉強をする姿が見られずとも心配ですが、志望校に合格することが一番の願いです。第三野球部で鍛えた根性で目標に向かって進んで欲しい。

長女は小学六年生。今年四月からは中学生になります。憧れ

長女は東北楽天ゴールデンイーグルスの大ファンで、仙台まで野球観戦に行きたいという希望があります。それを叶えてあげられるのはなかなか難しいですが、そのうち(いつか?)連れて行ってあげたいと思います。

次男は小学三年生。学校大好きで笑顔が可愛い末っ子です。小さい頃から偏食が心配でしたが、以前よりも食べられる物が少しずつ増えてきました。最近のお気に入りは何故か納豆で毎食食べるほど大好きです。薬を飲むことが非常に苦手です。薬を飲まず自然治癒になつてしまおうので、風邪をひかずに元気に過ごせるよう願っています。

妻には昨年、健康のために買ったはずのランニングマシンがあります。この頃使っているという話を聞かないし、使っているのを見えていないです。妻が使わなくても、時折元気な子どもたちが代わりに使ってくれています。普段運動する機会が無いので、せめてランニングマシンを活用して一年間健康に過ごして欲しいです。

災害がない年になりますように予防活動に努めてまいります。個人的には妻と同様に運動不足気味でお腹に肉が付いてきているので、ランニングマシンを活用してメタボ対策をして健康に注意していきたいと思えます。

結びに家族全員が元気で一年間過ごせますように！

母は八十代前半ですが、ゲートボールや編み物やカラオケと趣味を楽しんでいます。時には孫たちの世話もしてもらい助かっています。二人ともいつまでも元気でいてください。

私は現在第五分団の分団長を務めていますので、まずは火災

